



トップスニュース

Vol.98

2017年5月25日

加盟
団体



サンフレッチェ広島



JTサンダーズ



ワクナガレオリック



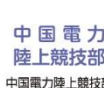
広島メイプルレッズ



広島ガス
バドミントン部



NTT西日本
ソフトテニス部



中国電力
陸上競技部



コカ・コーラウエスト
レッドスパークス
ホッケー部



広島東洋カープ

トップス広島 事務局

〒734-0007

広島市南区皆実町2-8-42

猫田記念体育館1F

TEL:082-254-2012

FAX:082-251-5712

URL:www.tops-h.net/

このQRコードから
公式Webサイトへ
アクセスできます。



花の祭典 第41回フラワーフェスティバル開催！！

5月3日（水）から5日（金）まで広島県の一大大行事「第41回フラワーフェスティバル」が平和通り・平和記念公園（広島市中区）ほかを中心に開催された。トップス広島所属チームの選手も、各イベントに参加した。トップス広島ブースでは、各チームの選手たちが広島のスポーツに関するアンケート調査を実際に行い、来場者との交流を楽しんだ。



広島メイプルレッズ

子どもたちにハンドボールの楽しさを！

4日（木）にはトップス広島ブースで、広島メイプルレッズの選手によるハンドボール投げの当て大会が行われた。

参加した青山紗弓選手は、「なかなか普段、ハンドボールという競技を体験してもらう機会は少ないので、このような場が増えてハンドボールというものを知っていただけたらなと思っています。」と話した。

また、高森妙子選手は、「皆さんと交流を絡めながら出来るということが、昔と比べて変わったなと。自分たちも楽しみながら出来るし、盛り上げてくれるので、もっと楽しくなると思う。自分達だけでは出来ないことなので有難いですね。」と、感謝の言葉を口にした。

選手にとっても多くの来場者と触れ合う機会は、有意義なものであったはず。改めて、広島の人々の温かさに触れられたのではと思う。



広島ガス
バドミントン部

新人3選手がファンと交流！トークショー開催！

最終日の5日（金）には広島ガスバドミントン部の選手によるトークショーが行われた。

今年から広島ガスバドミントン部に加入した、小田菜摘選手、喜岡奈美選手、下田菜都美選手の3選手が参加した。

「バドミントンをしていなかったら将来、何になりたかったか」という質問に、小田選手は「パン屋さん」、喜岡選手は「トリマー」、そして下田選手は当時流行っていた「モーニング娘」と答え、会場を大いに沸かせた。

その他にも選手がステージの上でパフォーマンスをみせたり、ファンの方とラリーをしたり、ファンに向けてシャトルをうちはなったりし、会場は大いに賑わった。



コカ・コーラウエスト
レッドスパークス
ホッケー部

日本リーグ 開幕！ FF ではホッケー体験開催！

4月22日（土）、「高円宮杯 2017 女子ホッケー日本リーグ」が開幕した。昨シーズンは悔しくも4位に終わったレッドスパークスは王者返り咲きを目標に、初戦の駿河台大学 LADYBIRDS 戦に臨んだ。

前半から積極的な攻めを見せるレッドスパークスは、辻井紫歩選手、三橋亜記選手を中心に攻め込み、また最後まで堅い守りをみせ5-0と相手を大きく突き放し、日本リーグ開幕戦を勝利で飾った。

また、5月3日（水）と4日（木）にはフラワーフェスティバルの「コカ・コーラウエストさわやかひろば」にて、アトラクションの運営手伝いや飲料の販売等も行った。多くのお客さまに会場にいただき、実際にホッケーを体験してもらうことでホッケーの楽しさを伝える良い機会となった。今後もこのような活動を通じ、地域社会に貢献していきたい。



競り合うレッドスパークスの選手

ビーチ転向の越川に最高の贈り物！黒鷲旗優勝！

5月2日（火）～7日（日）にかけて第66回黒鷲旗全日本選抜大会が行われ、V・チャレンジマッチで2部落ちの危機を迎えていたJTサンダーズが2カ月で優勝を手にするという結果となった。

チームの主将である深津旭弘選手は、「この大会で“チームがひとつになれば勝てる”と改めて分かった」と、優勝を噛みしめた。また、この大会を最後にビーチバレーへの転向が決まっていた越川優選手も試合後、「インドア最後の試合で優勝することができて幸せだった」と話した。

14日（日）に行われた「JTサンダーズ2017ファン感謝day」ではJTサンダーズ最後のイベントとして、ファンとの時間を大いに楽しんだ。イベント終了後には場所を移して、ファンサービスを実施。急遽、サイン会を行いファン一人ひとりに丁寧に対応し、ファンにとっても、そしてJTを去る越川選手にとっても色濃く思い出に残る経験となったに違いない。

大学生がJTサンダーズのブース出展！

5月4日（木・祝）のフラワーフェスティバルの興動人ひろばにて、JTサンダーズと広島経済大学スポーツによる地域活性化プロジェクトが共同してブースを出展。

JTサンダーズの選手の貴重な動画や、JTサンダーズにまつわるクイズ、来場していただいた方へ横断幕にメッセージを書いてもらうなどの企画を実施。

当日は天気にも恵まれたたくさんの方に足を運んでいただき、約400人のお客様が来場。大盛況となった。



来場した子どもと触れ合うメンバー



ビーチバレーに転向する越川選手

合同ファン感謝祭開催！

4月30日（日）にワクナガレオリックと広島メイプルレッズの合同ファン感謝祭が中区スポーツセンターで行われた。

午前の部では両チームによる小中学生を対象としたハンドボール体験教室が行われ、午後からは両チームの紅白戦が繰り広げられた。どちらも白熱した試合を展開した。また、湧永製薬社長の湧永寛仁氏も参加し、フリースローを決めるなど会場を沸かせた。

また、昨シーズンをもって引退された塩見綾香選手、塩田真奈美選手、笠木美希選手の引退セレモニーも行われた。

ファン感謝祭は沢山のファンが参加し、ワクナガ、メイプルレッズとものとても有意義な時間であった。

未来の選手を育成！ 小中高練習会

広島県バドミントン協会では強化事業の一環として、ジュニア世代の練習会を行っており、そのスパーリングとして広島ガスバドミントン部が参加している4月18日（火）と5月9日（火）に小中高を対象とした合同練習会に参加した。小中高生は選手のプレーを肌で感じ、意欲的にプレーしていた。徐々に熱が高まり、体育館に声が響き渡った。

今後も広島県全体のレベルアップのために、このような事業に参加していきたい。

第7回全日本社会人選手権大会

広島メイプルレッズ

5月17日（水）メイプル 27 - 18 大阪ラヴィッツ	○
5月19日（金）メイプル 18 - 22 三重バレイットアイリス	●
5月20日（土）メイプル 16 - 22 北國銀行	●
5月21日（日）メイプル 21 - 23 ソニーセミコンダクタ	●

最終順位 4位

ワクナガレオリック

5月17日（水）ワクナガレオリック 28 - 34 北陸電力	●
5月18日（木）ワクナガレオリック 40 - 19 EHC	○
5月19日（金）ワクナガレオリック 28 - 16 HONDA	○

最終順位 9位

スポーツ×音楽で、広島に活気を！ 広島交響楽団と P3 HIROSHIMA イベントを開催！！

5月2日(火)に行われたカープ公式戦(VS 中日)では、広島県内に転居してきたご家族を対象に「P3 HIROSHIMA 春の招待事業」が行われた。P3 HIROSHIMA とは広島交響楽団・サンフレッチェ広島・広島東洋カープの文化1団体・スポーツ2団体のプロによって設立された地域活性化プロジェクトである。イベントでは試合前にスライリーと CC ダンスを練習し5回裏に披露。試合中には参加者を大型ビジョンで紹介した。試合は見事、逆転勝利をおさめた。

また15日(月)には広島交響楽団の楽団員4人、広島東洋カープのスライリー、サンフレッチェ千葉和彦選手とアンデルソン・ロペス選手が、広島赤十字・原爆病院を訪れ、小児科病棟で入院する子どもたちと交流した。

広島交響楽団の楽団員が小児科病棟で「となりのトトロ」などを演奏したり、子どもたちは千葉選手、ロペス選手やスライリーと写真を撮ったりなどして、楽しいときを過ごした。



原爆病院を訪れた選手たち

悔しさ残るシングルス選手権 このリベンジは夏に！

5月13日(土)14日(日)に第24回全日本シングルスソフトテニス選手権大会が香川県高松市で開催され、NTT西日本からは7名の選手が出場した。

長江光一、船水雄太、丸中大明、原侑輝の4名が2日目(ベスト32)に進出。原は2日目初戦で学生にリードしながらも逆転負け、丸中はベスト8を掛けた戦いで0-3から大逆転勝利(4-3)でベスト8に進出。準々決勝で船水との同士討ちとなった。船水VS丸中の同士討ちは終始、丸中が攻めこむも船水の粘りに根負けし、船水に軍配。

準決勝では、王座奪還を目指す長江と初栄冠を狙う船水。こちらも同士討ちとなった。チーム内でもライバルであり切磋琢磨する二人の戦いは、強弱をつけた攻めで船水を突き放した長江が決勝に進出した。

迎えた決勝戦。対戦相手は昨年の準決勝と同じNTT船水の弟、船水颯人(早稲田大)との戦いに。

長江は出だしのゲームでのミスが響いて波に乗れず、若い船水颯人はスキのない攻めで主導権を与えず、長江はまさかの完敗(0-4)。長江のみならずチームとしても、悔しい敗戦となった。

この悔しさを糧に7月の西日本選手権、全日本実業団では優勝を目指し戦う。

中国実業団陸上競技選手権大会 岡本直己選手2冠

5月13日(土)、20日(土)、21日(日)の週にわたり、第56回中国実業団陸上競技選手権大会がみよし運動公園陸上競技場で開催された。

中国電力陸上競技部の出場者の中で一番の活躍を見せたのが、最年長の岡本直己選手。今大会は、4種目を走破した。

5000mと10000mでは、残り2000mを切って一気にスピードを切換え独走態勢に入り、そのまま逃げ切って優勝。5000mは初優勝、10000mは前回大会に続く連覇を成し得た。

若手の元気がないことが気になるが最年長が元気にチームを引っ張る姿は、それをかき消す頼もしさがある。

トップス所属チーム

新入団（新人）選手

ワクナガレオリック



名前：助安 功成
出身：山口県
生年月日：1994/08/06
一言：ガッツあふれるプレーで、チームに勢いを！

中国電力陸上部



名前：秋山 雄飛
出身：兵庫県
生年月日：1994/05/02
一言：高身長を活かした走りに期待！



名前：佐藤 孝哉
出身：島根県
生年月日：1994/05/05
一言：粘りの走りが持ち味！



名前：富田 就斗
出身：山口県
生年月日：1996/05/16
一言：細身で軽やかな走りがアピールポイント！

広島ガス バドミントン部



名前：喜岡 奈美
出身：香川県
生年月日：1998/05/04
一言：フェイントが武器！



名前：下田 菜都美
出身：広島県安佐南区
生年月日：1993/02/06
一言：実績十分の期待の新人！



名前：小田 菜摘
出身：広島県安佐南区
生年月日：1998/04/25
一言：負けず嫌いが売りのニューウェーブ！

広島メイプルレッズ



名前：石川 紗衣
出身：大分県
生年月日：1995/02/15
一言：感謝の気持ちを忘れずに！



名前：三田 未稀
出身：東京都
生年月日：1995/03/16
一言：どんな状況でも前向きに！



名前：中村 桃子
出身：熊本県
生年月日：1998/08/22
一言：変わったキープイングが持ち味！

各チームの1推し選手を紹介します。

☆選手紹介コーナー☆



中国電力 陸上部
藤川 拓也選手

生年月日 1992 年 12 月 17 日
身長 163cm
血液型 O 型
出身地 広島県

↓ 担当者からのコメント

3 年目で今年は強さを身に付けた。1 年通して、勝負どころでしっかりと力を発揮し活躍したい。



ロゴマークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。

編集協力 広島経済大学 興動館
スポーツによる地域活性化プロジェクト